

若鮎賞

2歳・芝1600m M3
7月26日（日）盛岡競馬場

昨年の優勝馬・セイクリスティーナ



J R A 認定競走 岩手県畜産協会会長杯 第 27 回 若鮎賞（M3）

盛岡競馬場 2歳・芝1600m

7月26日（日） 18：20発走

今シーズン第一弾の2歳重賞・若鮎賞は2000年に創設。当初は2歳特別で行われていましたが、2012年から重賞へ格上げ。1着馬から3着馬には地方競馬全国交流・ジュニアグランプリ（8月23日 M1）の優先出走権が与えられます。昨年はセイクリスティーナが完勝。続くジュニアグランプリも制し、他にダート重賞2勝をマーク。2歳最優秀馬に選出されました。

【注目馬情報】

★セイカールトン 牡2歳 佐々木由則きゅう舎・水沢

日本ダービー馬マカヒキの初年度産駒で記念すべき勝ち馬第1号。デビュー戦はクビ差2着に惜敗しましたが、2戦目を快勝。出遅れを喫しながらも直線半ばで先頭に立ち、後続の追撃を封じました。盛岡芝は未知数ですが、母系をさかのぼれば小岩井農場が輸入した基礎牝馬フローリスカップ系。重賞制覇で2連勝を飾るか注目。

★キミノスキナアイス 牝2歳 櫻田康二きゅう舎・盛岡

盛岡芝1000m・2歳新馬戦で先手を主張して0秒1差3着。2戦目は芝1600mを使う予定でしたが、走路悪化のため芝からダート変更。逃げ一杯7着に沈みましたが、仕方なしの結果。祖母はGII・阪神牝馬Sを優勝するなど芝で6勝マーク。父も芝短距離GI2勝した典型的な芝向きタイプ。盛岡芝の経験を生かして首位十分。

★マナホクレア 牡2歳 板垣吉則きゅう舎・水沢

勝ち星こそありませんが、2着3着3着2回。すべて馬券対象を果たして抜群の安定度を誇っています。兄マナホクは北海道三冠にすべて出走し、不來方賞（当時は地元3歳重賞）を優勝したほか、札幌芝1500m・クロバー賞で6着。現状、ダート戦では最後の詰めが課題ですが、芝で一変する可能性があります。

★コパノブリックス 牡2歳 板垣吉則きゅう舎・水沢

今シーズンいの一の2歳新馬戦を快勝。2戦目は出遅れも響いて4着に終わり、その後は一旦休養。レース間隔は開きましたが、乗り込み量には不足ありません。父は北米GI5勝したブリックスアンドモルタルです。

★トゥーナエンジェル 牝2歳 齋藤雄一きゅう舎・盛岡

現在まで5戦を使われて5着3回止まりですが、一つ上の兄は盛岡芝1勝、芝重賞・ジュニアグランプリ、若鮎賞で2着を確保したトゥーナスタディ。父も同じゴールドアクターですから盛岡芝で変わり身がありそうです。

★リュウノカンムリ 牝2歳 酒井仁きゅう舎・水沢

デビュー戦の盛岡ダート1000mは5着に終わりましたが、地元水沢に戻って2連勝を飾りました。前走5着は芝からダート変更に加え、初の1600mもこたえた印象。芝は未経験ですが、距離を経験したのが強み。

★ベストプラージュ 牝2歳 飯田弘道きゅう舎・盛岡

デビュー戦は6頭立て6着でしたが、2戦目の水沢1300mで粘りを発揮して2着確保。以降は4着1回が最高ですが、父ビーチパトロール、母父スペシャルウィークなら芝が合うかもしれません。

文 松尾 康司